

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

JROAD-DPC を使用した、劇症型心筋炎の疾患登録とその解析

研究計画

【本研究の目的と意義】

心筋炎は、心臓の筋肉(心筋)に炎症が及ぶ病気です。自然と改善する場合がありますが、一定数の患者が心臓のポンプとしての働きが低下したり、命に関わるような不整脈を発症したりする場合があります。心筋炎が重症化した場合、劇症型心筋炎と呼び、血圧を上げる薬(昇圧剤)を使用したり、血圧を保つために、補助循環装置を必要とすることがあります。

劇症型心筋炎は、致死率の高い疾患ですが、近年、補助循環装置の装着などにより、救命できる例も増えてきました。しかし、劇症型心筋炎は発症率が低いため、現状では、近年の治療の実情を反映した、有効な治療法等を確立するための基礎資料とすべき十分な全国規模の調査はありません。

そこで、奈良県立医科大学を取りまとめ施設として、日本全国の施設から過去の診療情報を収集し、劇症型心筋炎の患者背景、検査データ(血液検査や心臓超音波検査など)、入院中や退院後の治療などについて調査し、治療の現状や、生存・死亡に何が影響するのかについて明らかにすることを目的として、本研究を実施します。

【研究対象者・該当期間】

2012年4月1日～2017年3月31日に当院循環器科を含む循環器疾患診療実態調査(JROAD)・DPC 調査(JROAD-DPC) ^(注1)に参加している施設において入院・治療を受けた、劇症型心筋炎の患者を対象としています。

【研究の方法】

診療情報、DPC 情報より、患者情報(例:年齢、性別、入院中や入院後の検査・治療内容、死亡の有無)の抽出および、心筋生検を行われている症例については、作成したプレパラートの収集を行いを行い、解析します。研究に伴う追加の検査等はありません。

【資料/情報の管理方法】

本研究では、取りまとめ施設である奈良県立医科大学循環器内科に設置したデータベースに、匿名化^(注2)された情報を登録します。

(注1) 循環器疾患診療実態調査(JROAD)とは、日本全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設に入院された患者様を対象として、循環器疾患の診療実態(各循環器疾患の患者数など)について調べるものです。DPC 調査(JROAD-DPC)とは、JROAD 参加施設のうち、診断群分類(DPC)を用いた支払い制度を採用している病院において、支払い情報に記録された患者情報(年齢・性別など)を収集した調査を指します。

(<https://jroadinfo.ncvc.go.jp>)

(注2) 匿名化とは、誰のデータであるかわからないように研究番号を付して処理した状態を指します。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。
なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

東京警察病院 循環器科 主任医長 門平忠之